

●2025年 7月18日 発売開始予定

教育の実践と理論の往還を求めて

日本学校教育学会 実践研究委員会での学びから

現場の熱と理論の深みを一冊に

——課題追求・国際理解・探究学習の最前線を射抜く、
教育現場必携の“未来を拓く”指南書！

本書は、日本学校教育学会実践研究委員会が3年間にわたるオンライン〈オープン実践研究会〉や研修の成果を結晶させた総まとめです。

テーマは課題追求型授業・国際理解教育・探究学習の三本柱。小学校から大学までの最新実践を、研究論文9本＋実践記録1本に凝縮し、授業改善から学校改革までを貫くヒントを提示します。ESD／SDGsを組み込んだ探究や全員参加の授業づくりなど、グローバル時代に求められる視点と手法も網羅。

理論と実践が往還するリアルな知見が、子ども・教師・地域の未来を力強く後押しする一冊です。

教育の実践と理論の 往還を求めて

日本学校教育学会
実践研究委員会 / 編

日本学校教育学会
実践研究委員会での学びから



◆目次

第Ⅰ部 日本学校教育学会 実践研究委員会の活動記録

- ・実践研究委員会の活動概要 (中山 博夫)
- ・オープン実践研究会報告① —課題追求型授業に関する研究会— (佐藤 栄太郎)
- ・オープン実践研究会報告② —国際理解教育に関する研究会— (石森 広美)
- ・オープン実践研究会報告③ —探究学習に関する研究会— (醍醐 身奈)
- ・共創型対話学習研究所研修会の共催 (守内 映子)
- ・学会年報論文作成支援 (祐岡 武志)
- ・マレーシアスタディツアー報告 (中山 博夫)

第Ⅱ部 日本学校教育学会 実践研究委員会の研究活動

- ・私論、教育の実践と理論の往還・融合 (多田 孝志)
- ・斎藤喜博の「実践」に関する研究 —島小時代の人間解放の「実践」に注目して— (中山 博夫)
- ・学校における授業の組織化に関する一考察 (西尾 理)
- ・外国語教育を問い直す —留学生と協働した複言語活動から— (石森 広美)
- ・高等学校における探究学習の展開 —英語科の取組みを主な事例として— (祐岡 武志)
- ・学習指導要領の変遷と現代の教育課題に対応した探究学習における指導体制の在り方 —個別最適な学びと協働的な学びの実現を目指して— (醍醐 身奈)
- ・文学の授業でイメージ変化を確実にさせる要因 —高次の情動をつくる文学の授業— (佐藤 栄太郎)
- ・「わたし」はどこにいるかを巡るイメージギャップを考える —小説『雪国』の冒頭文に基づく初年次教育を事例として— (守内 映子)
- ・通信制高校とヤングケアラーの実態 —卒業生を対象とした調査票調査の実態から— (峯村 恒平)
- ・「ストーリー」と「ネットワーク」で紡ぐ「ESD for SDGs」 (島田 智)

Amazonにて2025年7月18日まで予約を受付中

<https://www.amazon.co.jp/dp/4824400872>

▶ 右のQRコードからAmazon販売
サイトへ移動できます。



日本学校教育学会 実践研究委員会 [編]

教育の実践と 理論の往還を求めて

234頁 / A5版サイズ / ソフトカバー

定価：2,400円（税別）

ISBN 978-4-8244-0087-1 C1037

発行：株式会社三恵社

TEL 052-915-5211 Fax 052-915-5019